

平成 22 年度第 2 回自動車整備技能登録試験〔学科(口述)追試験〕

第 82 回〔一級小型自動車〕

平成 23 年 7 月 24 日

12 問 題 用 紙

〔注意事項〕

1. 試験は問題 1 と問題 2 があり、試験時間はそれぞれ 5 分です。問題 1 が 5 分以内に終了した場合、試験開始後 5 分のブザー吹鳴まで問題 2 には進めません。
2. 試験開始のブザー吹鳴と同時に試験時間がカウントされるので、入室後は速やかに氏名（フルネーム）を申し出て、問題 1 に進みなさい。
3. 試験中、試験委員に対して受験者としてふさわしくない言葉づかい・態度があった場合は、減点の対象となります。
4. 登録試験に関して不正の行為があったときは、当該不正行為に関係ある者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
この場合において、その者について、3 年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。
5. 携帯電話、PHS 等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいてください。
6. 試験時間中（試験会場内）において、携帯電話、PHS 等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があったものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
7. 試験終了後は、この問題用紙を持ち帰りなさい。

問題 1. サトウ氏は、「**走行中に大きな音がする。**」という修理を依頼するため、本日、自動車に乗って整備工場を訪れた。下記の情報をもとに、依頼に関する「基本的な問診」を実施しなさい。

なお、問診後に**試験委員が点検方法などについて質問**するので答えなさい。

〔自動車に関する情報〕

自動車の種類	小型四輪自家用乗用車
初度登録年月	平成 17 年 8 月
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン
総排気量	1. 296ℓ
駆動方式	前輪駆動
トランスミッション	CVT（無段変速）
年間走行距離	約 13, 000km
総走行距離	78, 000km

メモ欄

問題2. ヨシダ氏から、「ライト・スイッチをオートの位置にしたときに、常にライト類が点灯状態となる。」及び、「左リヤのパワーウィンドが動かない。」という故障の修理依頼と、自動車購入後6年目の「1年定期点検整備」及び「日常点検整備」の依頼があり、必要な点検整備作業を行った。

1. 試験委員の指示に従って点検整備記録簿の情報をもとに、次の(1)～(2)の順序で説明しなさい。

- (1) 依頼された故障の状態、修理内容及び修理後の確認結果について
 (2) 点検整備記録簿の次の項目について
 ①交換した項目
 ②調整又は測定の数値のある項目

2. 上記「1. (1)～(2)」の説明終了後、試験委員が「ブレーキ液の保守管理を怠った場合の影響」について質問するので一つ答えなさい。

なお、試験の都合上、

- ①点検整備記録簿、交換部品を試験委員に向けて説明する必要はない。
 ②点検整備記録簿には必要事項を書き込んでもよい。
 ③整備保証の適用及び整備料金の説明は行わなくてよい。

〔情 報〕

1. 自動車に関する情報

自動車の種類	小型四輪自家用乗用車
初度登録年月	平成17年8月
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン
総排気量	1,348cc
駆動方式	前輪駆動
トランスミッション	4速A/T
年間走行距離	約14,000 km
総走行距離	84,000 km

2. 点検整備作業等

- (1) 「ライト・スイッチをオートの位置にしたときに、常にライト類が点灯状態となる。」及び、「左リヤのパワーウィンドが動かない。」という故障の修理と1年定期点検整備及び日常点検整備を実施した。(作業内容は点検整備記録簿のとおり)
 (2) エンジン・オイルとオイル・フィルタはヨシダ氏の依頼により交換した。
 (3) 部品交換は、ヨシダ氏に連絡して了承を得てから行った。

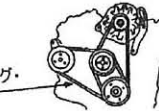
分解整備記録簿(1年定期点検用点検整備記録簿写)

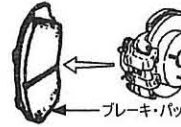
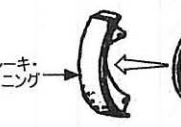
点検の結果及び整備の概要

(☆は1年、5,000km以下の走行距離によって省略できる項目)

点検 良好	良	交換	交	調整	調	清掃	清	省略	省
分解	分	修理	修	締付	締	給油 (水)	給	該当 なし	/

使用者の氏名又は名称 ヨシダ	自動車登録番号又は車両番号又は 車台番号 省略
住所 省略	点検(整備)時の総走行距離 84,000 km

エンジン・ルーム点検	
■パワー・ステアリング ベルトの緩み、損傷 良 調 	■冷却装置 ファン・ベルトの緩み・損傷 良 調 冷却水の漏れ 良 修
室内点検	
■点火装置 ☆ スパーク・プラグの状態 (白金プラグ、4バルブ・プラグは点検省略可) 良 交 点火時期 良 調 ディストリビュータのキャップの状態 良 交 	■ブレーキ・ペダル 遊び 良 調 踏み込んだときの床板とのすき間 良 調 ブレーキの効き具合 良 調 
■バッテリー ターミナル部の緩み、腐食 良 修 	■パーキング・ブレーキ・レバー(ペダル) 引きしろ(踏みしろ) 良 調 パーキング・ブレーキの効き具合 良 調 6→3ノッチ 良 調 
■エンジン 排気ガスの色 良 調 CO、HCの濃度 良 調 ☆ エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷 良 清 	■クラッチ・ペダル 遊び 良 調 切れたときの床板とのすき間 良 調 

足廻り点検	
■ディスク・ブレーキ ☆ ディスクとパッドとのすき間 良 調 ☆ ブレーキ・パッドの摩耗 良 交 	■ホイール フロント180→210kPa リア150→180kPa ☆ タイヤの空気圧 良 調 ☆ タイヤの亀裂・損傷 良 交 修 ☆ タイヤの溝の深さ、異常摩耗 良 交 スペア・タイヤの空気圧 良 調 ☆ ナット、ボルトの緩み 良 締 310→420kPa
■ブレーキ・ドラム ☆ ドラムとライニングとのすき間 良 調 ☆ ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗 良 交 	■ブレーキのマスター・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ マスター・シリンダの液漏れ 良 交 ホイール・シリンダの液漏れ 良 交 ディスク・キャリパの液漏れ 良 交 
下廻り点検	
■トランスミッション、トランスファ ☆ オイルの漏れ 良 修 ☆ オイルの量 良 給 	■エンジン・オイル 漏れ 良 修
■プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト ☆ 連結部の緩み 良 締 	■ブレーキ・ホース、パイプ 漏れ、損傷、取付状態 良 交 ■エキゾースト・パイプ、マフラ ☆ 取付けの緩み、損傷、腐食 良 締 交 ☆ 遮熱版の取付けの緩み、損傷、腐食 良 締 

日常点検	
ブレーキ液の量 良 給	バッテリー液の量 良 給
冷却水の量 良 給	エンジン・オイルの量 良 給 交
エンジンのかかり具合、異音 良 修	エンジンのかかり具合、異音 良 調
低速加速の状態 良 交	ヘッドランプ、ストップ・ランプ、ウインカー・ランプ等の点灯、汚れ、損傷 良 交
ウインド・ウォッシャー液の量 良 給	ウインド・ウォッシャーの噴射状態 良 調
ワイパの拭き取り状態 良 交	
厳しい使われ方をした場合のメーカーの指定する点検	
■ステアリング装置 ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み 良 締 ロッド、アーム類のボールジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷 良 交 ■ブレーキ装置 ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷 良 交 ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷 良 交 ■サスペンション、動力伝達装置等 サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた、損傷 良 締 ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツ部の亀裂、損傷 良 交 燃料漏れ 良 交	

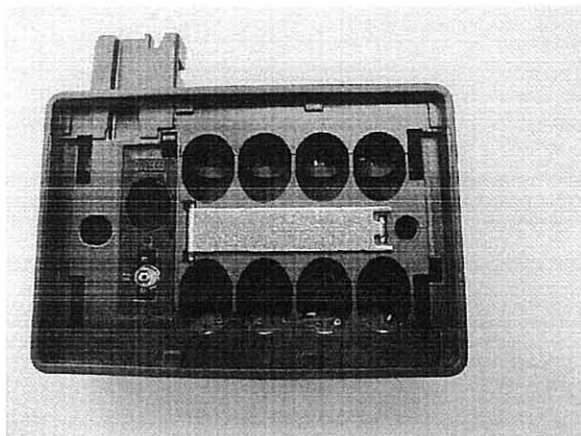
その他の点検項目等	
●光センサの不良により、ライトスイッチをオートの位置にしたときに、ライト類が常に点灯していた。 光センサを交換し、オートライトの作動が正常であることを確認した。	
●パワーウィンド・モータの不良により、左リヤのパワーウィンドが動かなかった。 パワーウィンド・モータを交換し、左リヤのパワーウィンドが正常であることを確認した。	
交換部品等	数量
エンジン・オイル	3.9 L
オイル・フィルタ	1
光センサ	1
パワーウィンド・モータ	1
メンテナンスに関するアドバイス	
二年間保存	

●CO、HC濃度 (アイドリング時)	●タイヤの溝の深さ (1.6mm以上)	前輪 左 5.1 mm 右 5.0 mm 後輪 左 5.6 mm 右 5.5 mm
CO 省略 % HC 省略 ppm	●ブレーキ・パッド、 ライニングの厚さ	前輪 左 7.0 mm 右 7.5 mm 後輪 左 4.0 mm 右 4.5 mm

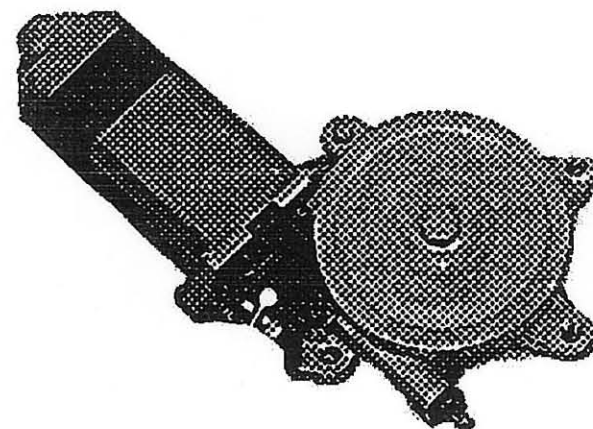
事業場名、所在地、認証番号 省略	点検年月日 平成23年7月24日	次回点検年月日 平成24年7月 日
	整備完了年月日 平成23年7月24日	整備主任者の氏名 省略

問題 2 交換部品等

●光センサ



●パワーウィンド・モータ



●エンジン・オイル

(図は省略)

●オイル・フィルタ

(図は省略)